

「心の持ち方で 世界は変わる！」



10月の全校朝会は、「幸せは自分（自分達）の心が決める」というテーマで！

10/5（月）8：20～放送にて

「天国と地獄」

ある若者が、「天国」と「地獄」を見せてもらえることになりました。

まず、「地獄」を見に行きました。ちょうど食事の時間らしく、テーブルの上には、美味しそうな料理がたくさん並んでいました。よく見ると、人々の片手はテーブルにくぐられ、右手には1メートルもある長い長いスプーンを持たされていました。もちろん、スプーンとそれをもつ手もくぐられていて、自由に調整することさえ出来ませんでした。地獄の人たちは、自分の口にご馳走を運ぼうとしますが、長いスプーンなので自分の口にはどうしても入りません。人々のご馳走を前にしながら食べられないことにイラつき、とうとう周りの人と喧嘩になってしまいました。

次に、「天国」を見に行きました。天国も食事の時間でした。見ると、地獄と同じように人々の片手はテーブルにくぐられ、右手に持っているスプーンも何と、地獄と同じ長い長いスプーンでした。でも、食べ方が違っていました。人々は、長いスプーンでご馳走をすくうと、向かい側にいる人の口元へ差し出しました。向かい側の方はそれを美味しそうに食べ、今度は自分のスプーンでご馳走をすくってお返しをしました。こうして天国の人たちは、全部のご馳走を美味しそうにお腹いっぱい食べることができていました。

自分のことしか考えない、わがままな人が集まっている「地獄」、優しい心でお互いに助け合う人々が集まっている「天国」。何が違ったのでしょうか？そう、天国と地獄の違いは、そこに住む人々の、「相手を思いやるか、自分だけが良ければ良いか」という心の違いだけだったのです。



天国か地獄か、幸せか不幸せかは、
自分の心次第で決まるってことでしょうかね！

修学の旅、行って参りました！

「例年通りには行かない」そう覚悟を決めていた修学旅行。しかし、お陰様で、1～2年生 三瀬村（自然体験）、3～4年生 武雄市（科学学習と伝統文化体験）、5年生 唐津方面（先進産業と環境学習）、6年生 長崎市（平和学習と国際文化体験）と、滞りなく実施することが出来ました。しかも、欠席無しの全員参加という最高の結果で(*o*)！

CORONAの影響でどうなるのか？と気を揉む日々が続きましたが、正直ホッとしています。これも、保護者の皆様の理解と協力があったこと。本当に有り難うございました。さて、ここでは、修学旅行の集大成、6年生の修学の一部を紹介しましょう。

修学旅行 IN 長崎 アラカルト



長崎の夜は100万ドルの夜景と言われています。何より、その夜景を見ている子供達が、100万ドルの笑顔に輝く、思いでの修学旅行となりました！

可憐な花が咲きました！

先日、校長室に可憐な花が2輪咲きました。あれは6月頃だったでしょうか。ある職員が花を摘んで校長室に飾ってくれました。間もなく花は散りましたが、以降、水だけは欠かさぬようしていました。あれから約4ヶ月、思いがけなく可憐な花を咲かせてくれました。

可愛がってさえいれば、いつか花を咲かせる…。可憐な花に、大切なことを教わった気がします。



